

102-232

問題文

院内感染を予防するために、陰圧個室に患者を収容するなど空気感染対策をとる必要がある感染症はどれか。
2つ選べ。

1. 水痘
2. 結核
3. クロストリジウム・ディフィシル感染症
4. マイコプラズマ感染症
5. ノロウイルス感染症

解答

問232 : 2, 3問233 : 1, 2

解説

問232

疥癬とは、ダニ感染による疾患です。

選択肢 1 ですが
剥がれた角質層にもダニがいます。そのため、角質層を介して感染が広まります。よって、選択肢 1 は誤りです。

選択肢 2,3 は、正しい記述です。

選択肢 4 ですが
予防目的での内服投与はありません。ちなみにイベルメクチンは、2015 年ノーベル賞受賞した大村さんが開発に貢献した物質です。

以上より、正解は 2,3 です。

問233

選択肢 1 は、正しい記述です。
水痘とは、水疱瘡（みずぼうそう）のことです。五類感染症の一つです。空気感染します。

選択肢 2 は、正しい記述です。
結核は二類感染症の一つです。空気感染します。

選択肢 3 ですが
クロストリジウム・ディフィシル感染症は、クロストリジウム・ディフィシルが空気に非常に弱い嫌気性の菌であり、空気感染はありません。よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
病院内でマイコプラズマ肺炎の患者が発生した場合の院内感染対策としては、患者の病室を隔離したり消毒、マスク着用の徹底などがあります。飛沫感染、接触感染対策は必要ですが、陰圧個室への患者収容といった空気感染対策までは必要ありません。よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
ノロウイルスは、吐瀉物などの処理が不適切だった場合にちりや埃にのってウイルスを取り込んでしまうケースが一種の空気感染としてまれに起こります。そのため、吐瀉物などの処理を適切に行うことに注意する必要があります。空気感染対策をとる必要がある感染症ではないといえます。よって、選択肢 5 は誤りです。

以上より、正解は 1,2 です。